

第31回倉吉文化団体協議会連合展 事業報告書

事業名	第31回倉吉文化団体協議会連合展																																												
事業実施期間	令和元年 9月8日(日)～令和元年 9月15日(日) [6日間]																																												
事業実施場所	倉吉博物館 展示室第1～4																																												
実施主体名	第31回倉吉文化団体協議会連合展 実行委員会																																												
事業概要	<p>地元で活躍する文化芸術団体・個人により、写真・書道・染織・日本画・版画・洋画・今回からデザイン・工芸部門も新しく増設し、幅広いジャンルにわたる芸術作品を一堂に展示した。</p> <p>そして、恒例となった招待作家作品展示には「山根喬市」氏(写真家)の作品が展示され、オープニングセレモニーの後に、展示会場にて山根氏によるギャラリートークが行われた。</p> <p>・日程について</p> <p>会期：令和元年 9月8日(日)～ 9月15日(日) [6日間]</p> <p>令和元年 9月7日 12:30～13:00 作品受付、13:00～17:00 搬入・展示</p> <p>令和元年 9月8日 10:00～オープニングセレモニーおよびギャラリートーク</p> <p>令和元年 9月15日 16:00～17:30 撤去・搬出</p> <p>・出品者・出品作品数について</p> <p><u>写真 38名 46点</u>、 <u>書道 2名 4点</u>、 <u>染織 2名 4点</u>、 <u>デザイン工芸 32名 53点</u> <u>日本画 17名 22点</u>、 <u>版画 10名 9点</u>、 <u>洋画 10名 12点</u>、 <u>招待作家 1名 19点</u> <u>合計 112名 169点</u> (昨年 93名 119点)</p> <p>具体的な出品者名は以下の通り。</p> <p>【招待作家】 山根喬市 (写真家)</p> <p>【写真】</p> <table> <tr> <td>朝倉雅仁</td> <td>磯江一美</td> <td>井上英明</td> <td>上田福美雄</td> <td>大西忠文</td> </tr> <tr> <td>尾川伸弘</td> <td>門脇正八</td> <td>河原條秀紀</td> <td>里田晴穂</td> <td>塩谷博昭</td> </tr> <tr> <td>清水節子</td> <td>庄司美恵子</td> <td>住友堅一</td> <td>竹内 毅</td> <td>竹歳雅秀</td> </tr> <tr> <td>田子一夫</td> <td>田中昭男</td> <td>田中賢治</td> <td>塚本ダイ</td> <td>津村睦男</td> </tr> <tr> <td>富本彰人</td> <td>中村健一</td> <td>西村貢明</td> <td>根鈴裕之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>秦野のぼる</td> <td>福島多暉夫</td> <td>松井 収</td> <td>森 敬一</td> <td>森田陽子</td> </tr> <tr> <td>森本智喜</td> <td>森脇登美子</td> <td>山田直人</td> <td>山本浩一</td> <td>山脇賢治</td> </tr> <tr> <td>山本俊朗</td> <td>山本 浩</td> <td>渡辺祥二</td> <td>渡辺 誠</td> <td></td> </tr> </table> <p>【書道】</p> <table> <tr> <td>柴山抱海</td> <td>高橋俊和</td> </tr> </table> <p>【染織】</p> <table> <tr> <td>福田宏枝</td> <td>尾崎美紀</td> </tr> </table>	朝倉雅仁	磯江一美	井上英明	上田福美雄	大西忠文	尾川伸弘	門脇正八	河原條秀紀	里田晴穂	塩谷博昭	清水節子	庄司美恵子	住友堅一	竹内 毅	竹歳雅秀	田子一夫	田中昭男	田中賢治	塚本ダイ	津村睦男	富本彰人	中村健一	西村貢明	根鈴裕之		秦野のぼる	福島多暉夫	松井 収	森 敬一	森田陽子	森本智喜	森脇登美子	山田直人	山本浩一	山脇賢治	山本俊朗	山本 浩	渡辺祥二	渡辺 誠		柴山抱海	高橋俊和	福田宏枝	尾崎美紀
朝倉雅仁	磯江一美	井上英明	上田福美雄	大西忠文																																									
尾川伸弘	門脇正八	河原條秀紀	里田晴穂	塩谷博昭																																									
清水節子	庄司美恵子	住友堅一	竹内 毅	竹歳雅秀																																									
田子一夫	田中昭男	田中賢治	塚本ダイ	津村睦男																																									
富本彰人	中村健一	西村貢明	根鈴裕之																																										
秦野のぼる	福島多暉夫	松井 収	森 敬一	森田陽子																																									
森本智喜	森脇登美子	山田直人	山本浩一	山脇賢治																																									
山本俊朗	山本 浩	渡辺祥二	渡辺 誠																																										
柴山抱海	高橋俊和																																												
福田宏枝	尾崎美紀																																												

【日本画】	岩垣治世 徳田三凌 宮本京花	柿本 實 中川端月 横浜泉恵	河原條秀子 藤田睦子	熊谷和子 松本恵春	栗原誠子 宮城千代美
【水墨画】	綾女典子	奥田だ昇	奥村恭子	川本千賀子	牧田川嶺月
【版画】	綾女知廣 近藤正徳	石賀恵子 田中廣子	石脇正江 トバタカユキ	岡崎一成 田中廣子	小田加代子 中原玉美
【洋画】	奥田 昇 飯田啓子 南場兄一	奥村恭子 井之上玉代 福田春枝	牧田 修 小西勝之 森田美幸	竹内節男 山根大和	田中廣子 山涌敏秋
【瓢箪】	井関静華	岡本利之	亀井 満		
【仏像彫刻】	石賀善章				
【創作貼り絵】	山松保夫				
【竹細工】	田邊嘉治	中井千枝子	岡平善作		
【切り絵】	大下美登江	栗原誠子	吉村 勲		
【キルト】	上村智子 吉田京子	宇田川喜美子 吉村梅香	北村祐子 米山紀子	坂田清恵	中島香澄
【和紙ちぎり絵】	池信泰子 船木慶子	来海伸代 牧田洋美	栗原誠子 牧野春子	野尻美恵子	浜口悠子
【パステル】	谷口雅俊	福山恵子	井上治子	上橋琉斗	梶田晃徳

・入場者数について

9月 8日(日)午前：47名、	午後：48名、	合計：95名	(昨年一日 94名)
9月 10日(火)午前：35名、	午後：31名、	合計：66名	(昨年一日 74名)
9月 11日(水)午前：44名、	午後：58名、	合計：102名	(昨年一日 62名)
9月 12日(木)午前：42名、	午後：34名、	合計：76名	(昨年一日 192名)
9月 13日(金)午前：19名、	午後：38名、	合計：57名	(昨年一日 134名)
9月 14日(土)午前：39名、	午後：71名、	合計：110名	(昨年一日 134名)
9月 15日(日)午前：51名、	午後：84名、	合計：135名	(昨年一日 134名)

7日間総合計 641名（昨年 5日間 556名）

1日平均約 92人（昨年 1日平均 111人）

入場者総数での集客結果は、昨年度に比べ 85人の増加であった。今年は昨年より日数をのび日曜から一週間とした（月曜休館）日数は伸ばしたが、他地区との秋の行事も催しと重なったためか、オープニングセレモニーの参加者が減少した。

招待作家のギャラリートークでは多数来て頂いた様子。

中盤は、悪天候が重なった。しかし広報での呼びかけや個人向けのハガキ送付、工芸などの団体の代表者の方のご協力もあって広報が出来たようだ。

終盤の週末は、新聞文化欄を使った予めの掲示の効果があつた。

その他

・ 実行委員会について

本事業を開催するにあたり、下記の日程にて 12 回の実行委員会を開催した。

第 1 回実行委員会 平成 30 年 11 月 13 日

第 2 回実行委員会 平成 31 年 1 月 22 日

第 3 回実行委員会 平成 31 年 2 月 24 日

第 4 回実行委員会 平成 31 年 3 月 26 日

第 5 回実行委員会 平成 31 年 4 月 25 日

第 6 回実行委員会 令和 元年 5 月 23 日

第 7 回実行委員会 令和 元年 6 月 27 日

第 8 回実行委員会 令和 元年 7 月 24 日

第 9 回実行委員会 令和 元年 8 月 28 日

第 10 回実行委員会 令和元年 9 月 25 日報告会

・ 来場者へのアンケート結果

総入場者数 641 名、 回答者数 120 名（回答者率 19%）

[性別] 女性 75 名（63%）、 男性 45 名（37%）

[年代] 20 代未満 0 人（0%） 20 代 5 人（4%） 30 代 3 人（2%） 40 代 8 人（6%）

50 代 25 人（21%） 60 代 14 人（12%） 70 代 42 人（35%） 80 代以上 23 人（19%）

[住まい] 県東部 10 人（8%）、県西部 11 人（9%） 中部 92 人（77%） 県外 7 人（6%）

[満足度] とても満足 41 人（34%）、満足 67 人（56%） 不満 4 人（3%） とても不満 3 人（2%）

[次回鑑賞希望] ぜひしたい 88 人（73%）、したい 27 人（22%）、

したくない 0 人（0%）、わからない 5 人（4%）

[知った理由] 複数あり 家族友人知人から 76 人（63%） 新聞 48 人（36%）

ポスター 32 人（27%） 場所：市内、市内公民館、スーパー 大型施設

市報やチラシ11人(9%) ホームページ9人(8%)
その他(Facebook・文化活動センターから・日本海新聞・情報誌他)18人(15%)

[鑑賞理由] 複数あり 興味があった79人(66%)、関係者がいた38人(32%)、
通りかかった7人(6%)、薦められた5人(4%)、その他5人(4%)

[意見・提案など]

- 作品が沢山あり見応えがあった。→4名
- パッチワーク素晴しかった。→6名
- 書道か少なく感じられた。出品者を増やす事ができればなおよい展覧会になると思います
→2人
- 初めて見たが力作ぞろい。芸術性の高い作品が多い→7人
- 以前出品しているのがあった→1人
- わざわざ来ましたが私語が気になって集中できなかったから作品が心に届かなかった。
- 静かに鑑賞できました。倉吉には芸術性の高い作品が多い→3人
- 無料なので気軽に来れました。
- 毎回毎月見に来る。ここ数年博物館になってからか目録と出品者が合わない。苦勞して
作り上げた作品丁寧に扱うべきだ。残念だ。今年は知り合いの作品がなかった。
- 初日に来た時知り合いの作品がなかった。てっきり展示をやめたのかと思ったが
今日はあった。どうゆうことかな。知り合いは初めから出したと言った。
- 勢力的な作品ばかりでした・・良い作品ばかり題材が倉吉地区に合っている。
倉吉市の文化活動が活発な様子が見受けられ満足した。
- 多種多様なジャンルの作品が多い。とても見ごたえ有りでした。→4名
- 各分野での美に対する切取りが素晴らしい。
- いろいろな人の様々な分野の作品が一堂に見れるので今後も期待します。→3名
- みなさんの苦勞が分かります。細かい所まで気をつけてある。→2名
- 初めてオープニングセレモニーに参加ギャラリートークに参加して良かった→2人
- 毎年楽しみにしています。心癒された→3名

- 第4展示室の懐かしい氏名を見つけて、とても向上されていて嬉しく思い
また作品に出あいたい。生きる力をもらいました。生き方に心打たれた。→3名
- 山根氏の迫力ある作品は目を見張るばかりでした。
- 素晴らしい作品ばかり。ウツトリしました。→3名
- どれも見ごたえのある作品ばかりでした。中部に色んなジャンルで創作活動をしておられる方が
多くいらっしゃることに、またそのレベルもすごく高いことに感動しました。→2名
- 素晴らしいですね。色対技法が見れて良かったです。
- 個人の努力が形となって表現されている点で満足した。
- 作品と向き合ってみて作家の個性が伝わってきて良かったと思う。全体にサイズが控えめで揃った
感じはあるけど、見栄えはおとなしく感じた。山根喬市さんの個展もまとめてみると凄いですね。
舞台裏の編集やプリントの巧みさも感じました。ありがとうございました。
- 山松保夫さん、南場兄一さん、森田陽子さんの作品が特に印象に残りました。
- メディアSNSまた出品者の発信力をつかってはどうか。
- 頑張ってください。良い時間ありがとうございました。
- 亀井さんの瓢箪面白作品であった。
- 2階に上がる順序はつきりかいてほしい、月曜休館も明記してほしい。

[課題]

- ①引き続き芸術性のある作品を一般からも公募していく。
 - ②搬入の時の日通の方を従来2人から初日3名搬出2名にしたが、これは良かった。
 - ③参加人数の増加に合わせてポスターチラシの枚数を増加したい。
- 今年は配付カ所にポスターがたりないほどであった。次年度は枚数を増やしたい。